

平成29年度事業報告について

- 4月 第1回常任委員会（28日）
 - ・市民憲章推進モデル団体の決定（2団体決定）

- 5月 下松市民憲章推進協議会委員総会（30日）
 - ・平成28年度推進モデル団体の実践発表と感謝状授与
 - ・花いっぱい運動（ミニバラ等70鉢）豊井小学校運動会へ市民憲章はっぴの貸出し
「第32回くだまつ花と緑の祭典」助成（27日）

- 6月 平成29年度モデル団体活動助成金交付
 - ・大谷溪谷懇談会
 - ・切山子ども会⇒ 2団体 各50,000円交付（計100,000円）

- 7月 くだまつコムスポ体操配布用音源CD作成

- 8月 市民憲章モデル団体既設看板更新
第2回常任委員会（25日）
 - ・サポーター事業について協議

- 9月 『“元気づくり” くだまつ総踊り2017』後援（30日）

- 10月 サポーター事業「スローハイキング大会 in 中宮」（1日）
『第30回下松吹奏楽のつどい2017』後援（1日）

- 11月 市広報に市民憲章強調月間の記事を掲載
「第59回下松市花と緑のまちづくり推進大会」助成（18日）

- 1月 第3回常任委員会（15日）

- 3月 切戸川河川沿い大型ぼんぼり設置

- 4月 市民憲章だよりの発行
⇒ 会員及びサポーターに送付

平成30年度事業計画について

◎テーマ

憲章の精神（こころ）でささえるまちづくり

◎推進方針

市民憲章が理想とする市民像は「英知をもって事に処し、友愛をもって福祉に貢献し、勇気をもって真理と正義をつらぬく人」であり、構成団体や市民一人ひとりが市民憲章の精神（こころ）をもって、自分たちのまちを愛し、心豊かな人情あふれる住みよいまちづくりを目指す。

◎重点目標

6年目となるサポーター賛助金の活用事業、来年度の市民憲章制定50周年記念事業に向けた準備を本格的に行う。

また、サポーター制度を広く会員及び市民に周知して、市民憲章によるまちづくりを進めていくと共に、本年度は、サポーター事業として文部科学省が特別選定した映画「みんなの学校」を市内会場にて放映するイベントを実施し、明るい街づくりの推進、市民一人ひとりが共に自立し豊かに暮らせる社会形成に努める。

◎事業計画

○市民憲章制定50周年記念事業の推進

- ・後世に残るものとして市民憲章碑の設置（恋路スポーツ公園内）
- ・市民周知として宣伝水（ペットボトルお茶）の作成・配布
- ・市民参加として新たな「標語」・「写真」・「絵画」等の募集

（応募作品の内入賞したものは、新たなクリアファイルに使用する）

○市民憲章推進協議会サポーター事業

- ・映画「みんなの学校」放映
- ・制度の周知（継続及び新規サポーターの獲得）

○市民憲章啓発パネル設置（公共施設・加盟団体施設等）

○委員総会での『花いっぱい運動』

○各種団体の会合や公民館活動を通じて市民憲章唱和の浸透を図る。

○市民憲章強調月間の推進（11月の市広報で市民憲章理念の啓発促進）

○各種助成、後援

- ・花と緑の祭典、花と緑のまちづくり推進大会、吹奏楽のつどい等